

韮崎市再編保育園建設構想委員会会議録

1 会議の名称	平成25年度第2回韮崎市再編保育園建設構想委員会
2 日時	平成25年7月31日(水) 午後7時00分～午後9時20分
3 場所	韮崎市役所 別館 201会議室
4 議題(協議事項)	(1) 再編保育園第1園建設基本設計について (2) 再編保育園第2園建設計画について (3) 市立保育園民間活力導入の検討について (4) その他
5 出席委員	池田委員・小泉委員・馬場委員・茂木委員・仲沢委員・守屋委員・古田委員 中島委員・平賀委員・中山委員・飯野委員・矢崎委員・中島委員・阿部委員 小澤委員・平野委員・江口委員・五味委員・大村委員・今福委員・大木委員
6 会議の公開区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴人の数	0人
8 出席委員(事務局)	福祉課 功刀課長補佐・平賀・志村 教育課 秋山課長補佐 保育園 杉山園長・名取園長

	発言者	内 容
協議内容及び決定事項	事務局 功刀	【開会】 開会のあいさつ、課長・稀代・兵井が若尾区の地元説明会に出席のため欠席の旨説明 欠席者の報告(土屋委員・内藤委員・秋山園長)
	委員長	【あいさつ】 委員会として決まりましたこと、あるいは、方向性を出したことについては、委員の 全ての方が一人ひとり等しく責任を負っていくものだと思います。 是非、積極的にご意見をおっしゃって頂いてよりよい方向性が出せるようにご協力 をお願いします。
	事務局 功刀	規定により議事の進行は委員長をお願いします。
	議長	協議事項1再編保育園第1園建設基本設計について、事務局より説明をお願いいた します。
	事務局 功刀	基本設計については、第1回の会議で大筋の方向性はご了承いただきましたが、その 後、給食室の区画が確定した関係などで、若干修正が入りましたので、そのところと、 前回200台入るのかといった駐車場のご質問にあいまいなご回答をいたしましたので、 改めて、駐車区画を入れた具体的なものを用意いたしましたので説明させていただきます。 資料 再編保育園第1園基本設計(案)により 1 給食室の区画が決定したことに伴い、手洗い、収納、調乳室等の変更を説明 2 駐車台数等について説明
	議長	何か質問等ございますか。
	中島(ま) 委員	駐車場に階段がありますが、保育園側のほうが高いのですか。 未舗装の駐車場へはどこから入るのですか。
	事務局 功刀	土地の形状が西側から東側への傾斜となっていますので、保育園側が低くなってい ます。未舗装の駐車場へは南側の道路から入ることになります。
	議長	ご了解いただけたということですのでよろしいでしょうか。(特に意見なし)
	事務局 功刀	前回お示した案と今回の案を合わせまして基本設計とさせていただきます。 実施設計が出来たところで、予算との兼ね合いから調整が必要となる場合もあろうか と思いますが、大きく変更するような場合にはご報告をさせていただきます。 ※臨時委員の江口委員・五味委員の退席を案内
議長	それでは、協議事項の2再編保育園第2園建設計画について説明をお願いいたします。	

事務局  
功刀

資料の2 をご覧ください。

関連がありますので①から③までを一括で説明させていただきます。

①の第2園の設置ゾーンの決定について説明いたします。

再編整備計画における設置ゾーンにつきましては、残るゾーンとして、葦崎西・東・穂坂保育園を含むゾーンと、藤井・中田・穴山保育園を含むゾーンとなります。

計画では第2園は平成30年4月開園としていますので、前倒しが可能かも含め、4月に政策会議において、第2園のスケジュールを確認いたしました。

検討の結果、財政的には期間中に甘利小学校の大規模改修を控えているとこともあり、再編整備計画のとおりとすることになりました。

候補地の優先項目としては、第1園と同様市有地の活用が前提となります。

葦崎西・東・穂坂保育園を含むゾーンには現状有用な市有地が無く、現在地での拡張は周辺が個人住宅ということもあり困難であり、スケジュールを優先すること、民間活力の導入の検討と併せ第2園の候補ゾーンにはしないこととなりました。

第2園の候補ゾーンとしては、藤井・中田・穴山を含むゾーンとし、藤井保育園現在地を候補地として検討することになりました。

第1園の候補地決定の際にも説明いたしましたが、藤井保育園は現状の敷地面積でも仮設園舎を建てての建替えは可能ということで検討したしましたが、駐車場が手狭なこともありせつかなので、用地を拡張することを前提に計画をという事になり、第1園としては計画スケジュールに間に合わないとして見送った経過がありました。

第2園の平成30年開園の計画スケジュールでは、用地買収等に係る期間を見込んでも今年度計画を承認いただければ、間に合うものと考えておりますので第2園の候補地としたいというものであります。

添付資料の図面にて説明

中央のピンクの建物が、現在の藤井保育園です。

①～⑤の5筆を買収したいと考えての計画です。

スケジュールは、今年度計画承認、来年度農振除外、27年度用地買収、28年度、設計、29年度施工30年開園と考えております。

用地交渉が順調に行けば、可能な計画だと考えております。

全ての用地を買収した場合には、現在の敷地とあわせ、約7500㎡を見込んでおります。

建築工法につきましては、仮設園舎を建てての立替・用地買収したところへ園舎を建て、旧園舎を壊しながらすすめる方法、中田保育園を代替とする等いくつか考えられますが、用地が確定してから検討したいと考えております。

次に②の第2園の建築構造について説明いたします。

第1園の建設構造を決めていただいた際に、再編保育園は木造建築とすることに決定させていただきました。

昨年から引き続きの委員さん方はおさらいになりますが、葦崎市は「葦崎市内の公共建築物等における木材の利用の促進に関する方針」を定めています。

この中で、積極的に木造化を推進する公共建築物の範囲に該当する低層の建物は原則木造化とするとしています。

保育園はこの施設に該当しますので、木造建築とするものです。

併せて、補助事業としての建設が見込めるために木造化を取り入れるものです。

第1園についても、187,000千円ほどの補助金を見込んでおります。

参考として、法律の施行等について記載をしておきました。

森林資源を有効活用し、森を育て、林業を再生しようというものですが、内容をご確認いただいていると思いますので、説明は省略させていただきます

	<p>次に③第2園の運営及び定員規模について説明させていただきます。</p> <p>運営形態については、蕪崎市立の単独保育園として計画いたしますが、開園までしばらく時間がありますので、状況によっては認定子ども園に移行する場合も想定されます。</p> <p>定員規模については、資料の通園状況表にありますとおり、7月1日現在3園で152名となっています。</p> <p>市内0-2歳児の状況では年々減少傾向にあり、0歳児は単純推計だと164人程度と大分減少してしまいますが、そこまでの減少は無いと思いますので、期待も含めて200人前後にはなるだろうと予想していますが、減少傾向にあることは事実で定員規模を見込むのは大変難しい状況ではあります。</p> <p>現状の人員を基本に160名程度とさせていただき、運営形態と同様に状況が大きく変わるようであれば、設計までに見直しをさせていただくことにしたいと考えております。</p>
議長	市の政策会議の位置付けはどのようなものなのか説明してください。
事務局 功刀	副市長を筆頭とし、企画財政課長、総務課長、建設課長、会計課長等で組織されており、主管課からの新規事業等の提案についてその方向付けを行う、市の意思決定機関となります。
議長	お気づきの点、ご意見等自由に発言いただきたいと思いますがいかがでしょうか
平賀委員	第2園の買収した土地に対して園舎を壊した場合はどのような建設を考えていますか。
事務局 功刀	園舎の形をどうとるかですが、①～⑤までの用地を買収出来ると、7500㎡ほどの敷地になります。 建物の建て方は用地が確定してからになります。送迎の用の駐車場、先生方の駐車場も含めた中で、この敷地を有効に使える形にしたいと考えております。
平賀委員	山梨は冬が寒いので、南向きの園舎が良いと思います。中田保育園を代替とするのが私としてはベストとだと思います。 西中学校が、前の建物の横へ建てたので、少し変わった形をしていると思います。 それと同じにならないようにしていただきたい。
事務局 功刀	第1園も十分に日当たりのことを計算して、園舎の位置取りをしていますので大丈夫だろうと思います。
議長	資料に書いていただいた1.2.3.の工法が先にあるのではなく、保育所として敷地をどう活用すれば一番子どもたちにとっていいのかということ優先して考えていただいてその後工法が決めて欲しいというご希望だったと思います。 ほかはいかがでしょう。
茂木委員	資料に保護者の意見が付いていますが、どのような意図でつけていただいたのでしょうか。
事務局 功刀	④の項で説明いたしますが、中田保育園の保護者説明会をした後にご意見を頂戴しましたので、参考にとということでお付けしました。
議長	他にいかがでしょうか。 無ければ、一つずつ確認をしたいと思います。 ①についてはよろしいでしょうか。(特に意見なし) では①については承認とします。 ②についてはいかがでしょうか?
飯野委員	第1園は木造で、市内の木材を利用するということでしたが、第2園はいかがでしょう
事務局 功刀	第1園につきましては前回の会議で甘利山のヒノキを使うということをお説明させていただきました。第2園は5年後になりますので、甘利山の木が使えるかどうかは分かりませんが、補助金を受けることが前提ですので、最低でも県産材を使うことになります。 地元に見える木があれば当然優先的に使うことになると思います。
議長	②については以上でよろしいでしょうか。(特に意見なし) では②については承認とします。 ③ですが、状況により見直しもあり得るとのことですが、よろしいでしょうか? もう一度具体的に説明していただけますか。

事務局 功刀	<p>基本的には単独保育園で計画します。私立の幼稚園がありますので認定子ども園ではご迷惑をおかけすることになりますので考えてはおりません。</p> <p>逆に幼稚園のほうで認定子ども園に移行した場合には、単独保育園では成り立たなくなることも想定されますので、幼稚園が29年度前に認定子ども園に移行するようなことがあれば、検討することになるという考えです。</p>
議長	<p>そういう動きがあった場合に、単独保育園ではやっていけないということが皆さんにお分かりにならないと思いますので、その辺りの説明をお願いします。</p>
事務局 功刀	<p>幼稚園が認定子ども園に移行すると、保育園部門が私どもと競合することになりますのでその部分が懸念されることです。</p>
議長	<p>認定子ども園で、どの程度定員を取るかということで、影響が出てくるということ。子どもの数が限られているということで心配されていますが、いままでは保育に欠けるという条件が、保育を必要とするに変わりますので、条件が緩和されるので今まで入れなかったお子さんが入れるようになる可能性もあるので、ニーズの掘り起こしも新たに出来ると思いますが、未だ全く分らないという状況だということ。そういうことを含んでいます、今は葦崎市立の単独保育園で計画するという考えだということです。</p> <p>あと、160人程度ということで根拠資料もつけていただいておりますが、これも状況によって分らないということ。③についてはいかがでしょうか。</p>
平賀委員	<p>単独保育園以外の運営方法というのはどういったものがあるのでしょうか。</p>
事務局 功刀	<p>認定子ども園です。幼稚園機能と保育園の機能を併せ持ったものです。</p>
平賀委員	<p>市が認定子ども園をやるということですか。</p>
事務局 功刀	<p>第2園も葦崎市立で計画しますので、仮に認定子ども園になった場合も市で運営しますが、今現在では単独保育園で計画します。ただ、5年先のことでありますので状況によってはということをお含みいただきたい。</p>
平賀委員	<p>運営方法が変わっても、建物の構造は問題ないのでしょうか。部屋数とかも変わると思うのですが、不透明なまま計画出来るのかなと思います。</p>
事務局 功刀	<p>既にある保育園が認定子ども園に移行するばあいは、施設の変更を強要される様なことはありません。</p>
平賀委員	<p>保育園で建ててしまっても大丈夫ということですか。</p>
事務局 功刀	<p>保育園を建ててから移行する場合には、それほどの縛りは無いと思います。今から認定子ども園をということであれば、それなりの施設を作るよう指導されると思いますが。</p>
茂木委員	<p>大きく違うところはどこでしょうか。</p>
事務局 功刀	<p>具体的なところは良くわかりませんが、勉強に必要な施設的な要素が加わるようになると思います。</p>
杉山園長	<p>幼稚園のほうが、縛りは多いです。乳児を預かることになれば調乳室や沐浴室が必要ですし、給食室も必要になります。保育園は施設的には移行するのにそれほど問題は無いと思います。</p>
大村委員	<p>昨年、社会保障と税と子育て3法ということが言われ、初めて子育てということが矢面に立てるようになりました。</p> <p>子育てということが、日本という国の将来をきちっとして行くには、子どものときから国がそれなりの責任を持って育てて行かなければいけないとのことから、今まで援助や補助といった言葉だったのが、初めて財源という言葉が使われました。</p> <p>ただ、財源というのが消費税を上げて財源とするということが決まり、その中に二つありますがその一つは、将来の国を維持するための子育てということで財源をきちっと確保して、保育園・幼稚園というところを一本化して、文科省と厚労省の管轄を内閣府に一本化して、国の政策として子育てをしていこうという事です。</p> <p>もう一つは、葦崎とか山梨には無いのですが、東京を中心に言われております子ども</p>

たちを預ける場所がないという時に、認定の子どもを預かる施設と認定外という施設があるのですが、認定外のほうが遥かに費用がかかる訳です。その差額を個人にも援助しようという目的も今度の法律にはあります。

一つの例としては、横浜市が待機児童0に成功しました。約1万人以上の定員を増やして、ありとあらゆる民間やNPOの協力をいただきながら、144の場所を作って待機児童0を実現したわけです。

蕪崎の場合は全く逆で、私も再編のことは最初から携わっていますが、9園を4園にするということは、無い地区と減らされる地区の方は悲痛な思いがありました。

中田保育園さんのご父兄の声もそうですけど、その方たちを納得させるためにも、4園になったならば、その4園と私立の3園で新しく蕪崎に来て子どもを産んで育てようという環境を作るということを、その当時の統合再編の約束事のようなものとして、私はすごくそれに期待して、そういう事であれば自分たちの役割をもっともっと充実したり、出きる事はしたりという気持ちで今日までやってきています。

第2園のこともあるのですが、民間という事が次の議題としてでています。テレビでハーバード大学のマイケル・サンデル教授の本の中に、「あなたはお金でそれが買えますか」という言葉があります。

それはある大事なものを商品化した時に市場経済で一番の元がだめになってしまうということです。

杉山先生にずっといわれ続けたことですが、子どもの最善の利益を、これが私達の原点でこれを忘れてはならないという話を伺っています。

民間というものは、ある程度利益が出なければなりませんし、ならないものは切らなければいけない。そこで民間の話が出てきたことに愕然としています。4園にする時のなくなる地元の人たちの声は、「中学校が無くなった、小学校も保育園もなくなるのか、俺たちの地域はだめということか」という声がいっぱいありました。そんな中で先ほどお話した、「新しく4つになる保育園と3つの幼稚園で蕪崎の子育てを、蕪崎方式を世の中に認めてもらうようなことをしていきたい。」ということでその案を承知した覚えがあります。

元の話とそれと申してしまっ申し訳ありませんでした。

縦割りの文科省＝幼稚園、厚労省＝保育園の枠を取り払う第一段階として内閣府が中心となって、新しく認定子ども園という制度を設けて、幼稚園が保育園の機能を持つても良い、保育園が幼稚園の機能を持つても良いとなっていますが、保育園が幼稚園の機能を持つほうが楽です。私どもには給食室からなにやら認可をしてもらうには設備投資という大きな壁があるわけです。そこで皆どうしようどうしようということで、ほとんどの幼稚園が迷っているような気がします。

今度の認定子ども園には、保育園型・幼稚園型、今までどおりの幼稚園などいくつかの組織が生まれてくると思います。

議長

今、国の制度が大きく変わろうとしていて、しかも分りにくいです。

国として考えているのは、自治体毎にきちんとどのような施設をどのくらい必要とするのか、将来的にもどの程度必要とするのかということ、きちんと調査をして把握をして事業計画を立てるといったことが求められています。

運営方法についても、いろいろ求められています。少なくとも保育を必要としている、将来的にもですけれど、お子さんや家庭にはきちんと保育サービスが行き届く計画を作りなさいというのが国から求められているということです。

その間、いろいろな状況が変わる可能性がある中で、市としてはどういう形で行くか私立の幼稚園がどういうふう希望されるかによって、需給の調整として見直すこともあるということ。

先ほど説明があったのは私立の幼稚園の動きを見ながら、行政としてもそれに対応しながら全体がうまく行くように調整する可能性があるということの説明いただいたということだと思います。

では、現時点では蕪崎市立の保育園で、160人規模ということで行きたいということですがこれについて、何かありますでしょうか。

茂木委員	<p>認定子ども園になった場合に構造的には保育園の構造でいけるだろうということは理解できました。定員のところはどうなるのでしょうか、160名でいいのでしょうか。単純に考えると増えるのではないかと思うのですがそのあたりの見解はいかがでしょう。</p>
事務局 功刀	<p>160人定員の中に幼稚園定員を何人にするかということになるとと思いますが、計画段階で認定子ども園とするならば定員の変更は可能です。</p> <p>運営を始めた後であれば定員の中で、幼稚園部分を調整しながらになると思います。</p>
茂木委員	<p>総枠が160人と決めなければならないのでしょうか。認定子ども園になった場合に幼稚園部分の上乗せがあるということではいけないのでしょうか。</p>
事務局 功刀	<p>今年度この計画を立てないとスケジュール的に間に合わないこともあり、今現在では認定子ども園があるという計画は立てられませんので、そういった意味で今後の動きを見させてという含みを持たせていただきたいということです。</p> <p>承認をいただければ計画として公開をいたしますので、公表の段階で定員規模が定まっていないという訳には行きませんが、計画をお示しするための基準的な定員規模とお考えいただきたい。</p> <p>設計は3年先の話ですので、それまでに動きがあれば設計の段階で調整が出来ると思います。</p>
茂木委員	<p>160人規模というのは今後の動向を見ながら変動させることは可能であるということでしょうか。ここで決めればそのまま最後まで変えられないのでしょうか。</p>
事務局 功刀	<p>定員については目安として160人規模とさせていただくと理解いただければと思います。(そういうことであれば了解しました、の声)</p>
小泉副 委員長	<p>当初の再編整備計画で、幼保一元化の話もありましたが、幼稚園側では出来ないという話もありました。韮崎市の現状では、保育園と幼稚園がいかに共存共栄していくかということですから、現段階では韮崎市立の保育園ということで決定していただければ良いのではないのでしょうか。</p>
議長	<p>先ほど事務局から説明があった、私立幼稚園が認定子ども園になったときには単独の保育所では立ち行かないというのは、保育を必要としている子どもの人数が一定だとすれば、それが認定子ども園の定員の中に増えていくわけです。</p> <p>そうすると保育園のその部分が調整されて少なくともならざるを得ないことになり、立ち行かなくなるという心配があるということですが、現状では分らないということです。</p> <p>定員については、設計とのからみがありますけれども、160人と決めたからそれで行くというのではなく、流動的に、ニーズ調査もされるわけですから適切に対応していくということによろしいでしょうか。</p> <p>では、韮崎市立の単独保育園、定員規模は160人程度ということによろしいでしょうか。(特に意見なし)</p> <p>国の動きがどうなるか分らないところもありますけれども、現状ではその方向で行くということはこの委員会で了解したということにします。</p> <p>それでは、①から③までは委員会として了承したということによろしいですね。</p> <p>④についてはどのような意図があつてのご提案になりますか。</p>
事務局 功刀	<p>④については、中田・穴山保育園の運営について市の考え方をお伝えしたいということです。</p>
議長	<p>委員会として、こうでありたいとか、これではいけないといった結論を出さなければいけないというものですか。</p>
事務局 功刀	<p>今後、地区説明会等を行ううえで、委員会の意見も参考に進めていきたいのでご意見を頂戴できればと思います。</p>
議長	<p>市の考えを承って、ご意見が伺えればよろしいですね。</p>
事務局 功刀	<p>まず、中田保育園については、今年度は各年齢とも新規の入園希望者がありませんでした。現在は年中12名、年長3名の15名となっております。</p> <p>市の考えとしましては、来年度入所募集を行わず、年中児の卒園を待って休園としたいと考えています。これは、円野保育園が全く同じ状況で、今年度休園とさせていただきますが、同じ条件の中でという考えであります。</p> <p>先般、6月20日に再編整備計画の概要を説明し、再編が必要な理由と市の考えをお伝えしました。</p>

	<p>資料として、保護者の意見書を添付いたしました。再編はやむを得ないとの理解を頂いたうえで、いろいろな思いを意見として頂戴しています。</p> <p>今後の対応としては、中田地区で区長さんをはじめとした、役員会において、説明する機会を設けていただきました。</p> <p>8月の8日を予定しております、第2園の計画と中田保育園で保護者の皆様に説明させていただいた内容を説明させていただきます。市長からも地域の理解が得られなければ進めるべきではないと指示を受けていますので、理解が得られるということになれば、実施の方向で調整したいと考えています。</p> <p>無理に休園をとという考えではありません。あくまで理解を得られたらという考えです。</p> <p>次に、穴山保育園については、未満児を含め24名このほかに一時預かりが毎日2~3名いるといった状況です。</p> <p>未満児から年長児まで少ないながらも、クラス編成や異年齢の交流も出来ています。</p> <p>園児が大幅に減少し、円野や中田保育園のような状況にならないければ、第2園の開園を待って廃園としたいと考えています。</p> <p>説明会等については、第2園の建設計画と合わせ、藤井・穴山地区を順次地区説明会を行いたいと考えています。</p>
議長	<p>中田保育園と穴山保育園に対する市の考えが少し違うわけですね。</p> <p>来年度は年長さんが1クラスしかないという状態になるということで、異年齢の保育が出来ないということを保護者の意見として心配されているということです。</p> <p>何か良いアイデアはありませんか。中田地区の守屋委員さんいかがですか。</p>
守屋委員	<p>出来れば新しい保育園が出来るまで存続していただきたいのですが、平成26年度の3歳児、入ってくる子どもが何人くらいいるのか予想がつかますか。</p>
事務局 功刀	<p>資料の通園状況をご覧いただくと、中田町は今年度18名保育園に通っているお子さんがいますが、中田保育園には4名だけとなっています。</p> <p>地元のお子さんがどれだけ通ってくるかは分からないという状況です。</p> <p>中田保育園は朝30分、夕方15分だけの時間外保育を行っていますが、そこに常勤の保育士2名で対応しています。その時間外のために毎日交互に勤務ローテーションを組まなければいけないわけで、負担は大きくご苦労されているのが現実です。</p> <p>話がそれますが、保育園全体のことなのですが産休等で休まれる方が多く、その代替を見つけるのですが全く見つからず、人材派遣会社へ頼んで見つけてもらう状況です。そんなことから人材を集約したいこともあって休園を急ぎたいという思いもあります。</p> <p>子どもの話に戻りますが、子どもを預けたいという意見があることも、預かる時間が短いことや未満児保育をしていないことで、利用しづらいということも事実だと承知はしています。人を厚くすればサービスも上がりますが、それで子どもがどの程度集まるのか、サービスは提供したいけれども、費用対効果の部分でどうかを問われますのでなかなか難しいというのが現状です。</p>
守屋委員	<p>近々に再編ということで、新たに人を増やしていくことは難しいという状況は分ります。今の状態で行くと次の年度に入ってくる子は少ないだろうという予測は立ちます。</p> <p>そうすると保育が希望する異年齢の交流とか、上の子が下の子を見ろといった狙いみたいなものは出来ないと思います。地区にいる者としては是非残して欲しいとは思いますが、諸条件を考えると閉園しても仕方ないのかなと思います。</p>
議長	<p>守屋委員は、中田地区で0歳から3歳くらいのお子さんのいる家庭で、どれくらい中田保育園に入れたかった、あるいは入れたいと思っている方がいるかということをご存知ではありませんか。</p>
守屋委員	<p>はっきりしたことは把握していません。ただ、近くにいるお母さんは0歳児から預けたいので藤井に通わせていると言っていました。</p>

議長	<p>地区のニーズとサービスの内容が一致しないということで他に行ってしまうということでしょうね。(守屋委員から「そういう傾向は多分にあります」の意見)</p> <p>名取先生、一クラスで1年を過ごすということについてはどのようにお考えですか。</p>
名取園長	<p>園児 15 名の内、中田地区の子は 4 名しかいない。15 名も兄弟の中で一番下であったり一人っ子であったりということで、ここ数年は後に続いていかないということ、地域の中に子どもさんがいても未満児で、中田では保護者のニーズに答えられないというのが現状です。</p> <p>保護者の意見としては、再編統合について絶対反対という意見はありません。</p> <p>ただ、来年度入所の募集をかけないということが親にしてみれば、保育園の集団生活の中で異年齢交流を望んでいますので、募集をしないということでもそこが切り捨てられてしまうことや、最後まで子どもの育ちを保障していただきたいという思いがあるのだと思います。</p> <p>円野が同じ状況で、小さい子がいることの中で育って行くことがなかなか出来ないということが保育士の話の中で出ています。保育園が持つ機能がこのままだと発揮できない、来年 1 学年となると、そういった育ちをどのように保障してあげたらいいのか不安があります。</p>
議長	<p>募集をしないとなった場合には、そういったものを補うような、新しい保育プログラムを取り入れようとかいうお考えはありませんか。</p>
名取園長	<p>以前穴山がすごく少ない時があったのですが、そのときは中田が多かったので、小規模園の交流ということで、中田の園児と 1 年間交流をしたことはあります。</p>
議長	<p>万一募集をしないということになった場合でも、先生方としては交流などで出来る限りの配慮をしようというお考えですね。</p> <p>保護者連合会の会長さんは穴山保育園ですがいかがですか。</p>
阿部委員	<p>穴山には社会福祉法人がありますので、特別養護老人ホームや就労支援センターとの交流を持っていて、とてもいいと思っています。</p> <p>中田保育園や他の保育園と交流ができることは良いと思います。</p> <p>穴山も今日議題に上がるということで、アンケートをとってみました。</p> <p>良い所というのは、小さいので先生方の目が行き届いて、いろいろ相談しやすい。</p> <p>常に縦割り保育ですので、年上の子が面倒を見る、やさしく接してあげられる等、成長が感じられる。下の子が刺激をうけて良い等の意見がかなりありました。</p>
議長	<p>穴山保育園としては、第 2 園の開園まで待つて統合するという事は、特に異存は無いということでしょうか。</p>
阿部委員	<p>小学校が統合され、いずれは保育園もという思いがあるので、絶対反対という方はいませんでした。ただ、良いところを引き継いでいただいことと、現状で時間延長の対応をお願いしたいという意見はありました。</p> <p>(議長：せっかくの調査ですから、事務局へ提出してください。)</p> <p>取りまとめて提出します。</p>
平野委員	<p>東保育園では、休園した穂坂保育園の園児が来ています。異年齢保育が重要と考えるのであれば 1 学年のみの保育をするのではなく、藤井保育園へ通うというような方法は考えられないでしょうか。</p>
事務局 功刀	<p>休園を検討した際には、藤井での受け入れは考えましたが 12 名は受け入れできません。</p> <p>我々としては、正式にイベントも何も無く終わってしまった、穂坂保育園の終わり方を残念に思っています。</p> <p>中田保育園も財政的な問題や人的な問題もありますので、こういう形で区切りになるのであれば、このタイミングでいかがでしょうかという、投げかけに近いものです。</p> <p>円野保育園は了解を頂きましたので、年度末には地域の方々を招いて休園のイベントをさせて頂けると思っています。</p>



	<p>また、異年齢保育の一例として、円野保育園には今の年長さんと1人年中さんがいたのですが、今年度旭保育園に移りました。小さいながらも1歳の年の差が壁になっていたようで、今はすごく伸び伸びと元気にされているということです。</p> <p>その辺のところを杉山先生からお話ししていただきます。</p>
杉山園長	<p>円野保育園から転園するというので、どんな子が聞いたところ、引っ込み思案であり口を利かない子、ということで心配だったのですが、全くそういうことが無く、どの年齢の子どもたちとも係わり元気に過ごしています。家族もとても喜んで、旭保育園に着て良かったといっていました。</p>
議長	<p>集団が固まってしまうとその中で位置付けができてしまうというデメリットもあるし、非常に家庭的というメリットもあり、そこはいろいろとあると思います。</p> <p>私としては、地区説明会の時に休園の案しかないということではなくて、いくつか選択肢があるということを示されて、いい方法を選んでいただけるような説明をしていただきたいと思います。</p> <p>わざわざ保護者から意見を出していただいた上での説明会ですから、考えていただきたいと思います。</p> <p>建設時に中田保育園を代替とする案もお考えのようですから、うまく繋がるようにはできないのでしょうかとも思うのですが。</p>
事務局 功刀	<p>中田保育園を代替とする場合には、29年度の建設時と考えていますので難しいと思います。</p> <p>26年度に募集を行わないとしたのは、円野保育園と同じ条件にという考えからです。</p> <p>ご意見も頂いておりますので、募集を行ったときに何人来るかということになりますが、踏ん切りをつけるところをいつにするかということになると思います。</p>
杉山園長	<p>募集はしないとなると、保護者が寂しい思いをすることになりますので、募集はするけれども、こういうことになりませよということを伝えて、それでも入りたいということであれば、受け入れをすればいいと思います。</p> <p>そうすれば保護者も納得されると思います。</p>
議長	<p>委員会としては5歳児だけということにならないで、子どものことを考えていただき、地区説明会ではむしろご提案をいただくような形で臨んで欲しいと思います。</p> <p>穴山保育園についてはこの考えで特に異論は無いということ、中田保育園については少しお知恵を絞って頂きたいということでお戻しします。</p> <p>時間の関係もありますし、協議事項の3は市の保育行政としても大きな決断あるいは判断を伴うものですので、今日これについて協議するというのではなく、なぜこういう協議事項が出てきたかということについて、今までの事実経過を説明いただき継続協議ということにしたいと思っておりますがよろしいでしょうか。</p>
事務局 功刀	<p>時間も押していますので、今日は3の民間活力の導入の検討についてだけ説明をさせていただきます。</p> <p>社会福祉法人からの申し出について説明をいたしますが、誤解の無いように先に申し上げますが、民間活力の導入について、市の考え方として民営化ありきで進めるといったことではありません。</p> <p>私どもも、法人からの申出がなければ、近い将来に認定子ども園に移行する私立幼稚園があれば、保育所を運営する部分を民間に譲渡する形になるかな程度に考えていたのが正直なお話です。</p> <p>今般、法人から申出を話も聞かずに門前払いにすることも出来ませんので、お話を伺い、今年度の2月下旬に保育園名や開園時期について示されましたので、市としての対応を、第2園建設計画と同様に政策会議に諮りました。</p> <p>会議では、検討に値する事例ではあるが、本委員会に図りながら、保護者を含め市民の理解が得られるなら、民営化を進めるようにとの指示を頂いております。</p>

	<p>そういったことから、今日は、法人からの申し出があった内容をお伝えし、引続きの検討事項としていただけるかどうかご協議いただきたいと思います。</p> <p>それでは法人からの申出の経過を説明いたします。</p> <p>平成24年11月に全く何の前触れも無く、城西福祉会の代理人から電話がありまして、葦崎市で保育園を運営したいのでお話を聞きたい旨の連絡がありました。</p> <p>同様に12月すみれ福祉会からも連絡が入り、お話を伺ったというのがスタートです。これは、葦崎市で保育所を開園する場合に、その必要があるかどうか市の意見書が必要になるためであろうと思います。</p> <p>それぞれからお話を伺いましたが、2法人共に新たに保育園を建設するには財源的に厳しいこともあり、出来ることなら既存の保育園の運営をしたいという意向でした。</p> <p>市としても、少子化により園児の減少する中で、新しい保育園を作って園児の取り合いになることは、双方にとって避けたい事態であること、再編整備計画を進めるうえで民間活力の導入も検討することとしているので、計画を伺い検討はさせて頂く旨を説明しました。</p> <p>この際、仮に民営化を進めることとなった場合も、事業者の選定は一般公募になるので、その2法人が優先されるものではない旨は説明いたしました。また、土地・建物を貸付するか、売却するか等詳細については、今後検討し公募の条件とすること等を説明し、了解を得た上でどの保育園を対象としたいか、何時から運営したいのか具体的な計画を出していただく事としました。</p> <p>1月には既存の保育園を運営したいということでしたので、葦崎西・東・藤井・中田保育園を視察し、2月には両法人ともに、法人の直営で単独の保育園を希望しております。</p> <p>また、平成27年4月から運営開始、加えて近い将来に園舎の建替若しくは大規模改修等を条件としても良いとの考えです。</p> <p>城西福祉会は、西保育園・東保育園の駐車場が確保できれば候補にしても良い殿ことです。東保育園の南側の駐車場は、市が借り受けているもので、将来的に継続できれば東保育園も候補にしても良いという考えです。</p> <p>すみれ福祉会は、西保育園で運営したいとの意向でした。</p> <p>この時点では、来年度になってから政策会議や建設構想委員会等に回りどういう方向に進むのかを回答する旨をお話して終わっており、現状新たな動きはありません。</p> <p>話を承ってしまいましたので、何らかの回答はしなければなりませんのでよろしくお願いたします。</p>
議長	近い将来建替えも視野にあるというのは、これは法人が建替えるということですか。
事務局 功刀	<p>法人が建替えることを考えているということです。</p> <p>法人の場合は、国が2分の1、市が4分の1、法人が4分の1だったと思いますが、補助金が出ますので、そのつもりはあるとのことでした。</p> <p>西保育園・東保育園は市で再編する計画があるので、古いままではというお話をさせて頂きましたところ、条件にあってもいいということでした。</p>
議長	<p>民間活力の導入というもの考えたときに、多分頭にあったのは、市内の私立幼稚園というようなことで、市外の法人に移管してということは念頭に無かったと思いますが。</p> <p>なぜ、葦崎西保育園を希望されるのでしょうか。</p>
事務局 功刀	入所率が高いことだと思います。あまり敷地的なことや駐車場なんかは気にされないこともありますが、やはり、子どもの数が安定的に確保できるということだと思います。
議長	協議事項の民間活力の導入の検討の可否について、検討の可否ですから検討した結果駄目の場合もあると思いますが、検討をもしこの委員会ですとなると、どんな情報を得たいですか、次の委員会の時に市の説明なり、情報なりが欲しいでしょうか。

事務局 功刀	<p>蕪崎には私立の保育園がありませんので、メリット・デメリット的な資料は一般的な例となりますがご先行例を用意いたします。</p> <p>冒頭お話いたしました但し市としては民営化ありきではありません。今回法人さんからお話がなければ、民間譲渡ということは想像していませんでしたが、お話を伺った以上、門前払いもできませんので。</p>
議長	<p>民間譲渡を考えていなかったのに、門前払いをしなかったのには理由がありますよね。その辺はどういったお考えでしょう。</p>
事務局 功刀	<p>単純にお話を伺わないわけにはいかないということです。お電話では分かりかねるので1度お出で下さいということで、お話を伺ったらこういう内容だったということです。</p>
議長	<p>今の時点で、ご発言、ご意見を言っておきたいという方いらっしゃいますか。</p>
小泉副 委員長	<p>政策会議に図った結果はどういうものですか。</p>
事務局 功刀	<p>先ほど説明しました、2月までの経過を説明し、どういう方向で行くかを検討いただきました。そこでは、検討の余地はあるだろう。ただし、民営化ありきではなく、本委員会にもお諮りし、検討する、計画を作るということになれば、保護者の皆様等の理解を得た中で進める、そうでなければという指示を頂いたということです。</p>
小泉副 委員長	<p>市とすれば、財政的にも楽になるし、人件費も助かるということでしょうか、9園を4園にという計画はどうなるのでしょうか。</p>
事務局 功刀	<p>仮に民営化が進んだ場合は、時期的なこともあります、空き保育園の跡地を含める場合もあるかと思えます。</p> <p>現状では西と東の名前が上がっていますので、この2園を対象に一般公募を行うようになると思えますので、公立2園、民間2園となります。</p>
大村委員	<p>一番心配しているのは、1園、2園は市で設計して、後の2園は民間にということになれば、民間へ通わせる子供や父兄に凄くハンデがあると思えます。</p> <p>1園・2園は市でこれだけの条件・環境が整っているのに、後の2園が民間ということになれば格差が出ることも承知の上でここに出されたのか。</p> <p>市が4園に絞るということは、後の5園の気持ちの切なさを4園に託すのだから、市で責任を持ってやって欲しいということ、一番最初から携わってきた者としてお伝えしたい。</p>
議長	<p>先生のお話のニュアンスは、市民にとって公立の保育所の役割、あるいは意味とか価値とかいうものは何なのだと、それに対して私立の保育所はどうかということだと思えます。非常に大きな変化だと思えます。そこを、しっかり市民の皆さんが税金の使い方として、何を選ぶのかということも含めてお考えいただけるといいのかなと思えます。市の政策会議で検討の余地があるとした根拠は何ですか、やはり財政的な問題でしょうか</p>
事務局 功刀	<p>再編統合の一番の目的は財政的なことであることは否定できません。4園を市で持つより、2園を民間の方がということではあります。</p> <p>何度も申し上げますが、民間譲渡ありきではありませんので、十分論議を頂くか若しくは、検討のテーブルに載せないということが委員会結論であれば、それもやむを得ないと考えております。</p>
議長	<p>検討のテーブルに載せないといっても、委員会に持って来られたのですから、説明の根拠が必要だと思えます。</p> <p>例えば、4園のうち2園が民間になれば財政的に浮くわけで、これを何に使うのか、あるいは、そこは公立として残しておくのか、蕪崎の地域づくりが問われますね。</p> <p>お子さん方の育ちをどう考えるのかということは、保育士的には関わってくるのだと思えます。</p>

	<p>いろいろな視点から委員の皆様には考えておいていただくということで、西保育園、東保育園の委員のおふた方がでしょう。</p>
小澤委員	<p>子供が減っていく中で利益を得ながらやっていくのは大変だろうと思います。市立なら無くなることはないと思いますが、法人であればもしかすると無くなってしまふということもあるのかなと思いました。</p> <p>(議長：それは経営が上手くいかないということですか。)</p> <p>そうです、そういう事が不安材料としてあると感じました。</p>
平野委員	<p>子どもを預ける者としては、子どもがどのような環境で育つのかを一番考えなければいけない。</p> <p>民間のサービスが良いのはいい事なのですが、子供に不利になることがあつては困るので、十分に議論して答えを出して頂きたいと思います。</p>
議長	<p>サービスの種類だけでなく、保育の内容とか当然あると思いますね。</p> <p>時間もありませんので今日はこれ位にしたいと思いますがいかがでしょう。</p>
平賀委員	<p>3番を検討するにあたって、まず葦崎のゾーンの土地をどこに確保するか、結局見つからないから東と西を移行でいいのではないかと流れていく懸念があります。</p> <p>結局、市は土地がないからというところがネックになっていて。候補地がないから今回も第2園に該当しなかった。</p> <p>民間委託も候補地がないからと思ってしまう。具体的に候補地を示してもらわない限り結局そっちに行ってしまうのではないかと。</p>
事務局 功刀	<p>昨年もお話したと思いますが、葦崎の街中の候補地は、古い市営住宅等がかなりありますので、遠い将来には候補地になりそうなところがあります。</p> <p>今お住まいの方もいらっしゃるの、そこを候補地とするとは言えませんのでご理解をいただきたい。</p> <p>西と東を合わせますと、200人を超える規模になりますので、それだけの土地を確保するとなると、今は身動きが取れないという状況です。</p>
議長	<p>土地のことも含め、だいぶご苦勞があつて今回のお話にも繋がっているのだろうと思います。</p> <p>非常に大きな問題ですので、是非いろいろな方と意見交換されて、地区代表であつたり、事業者の代表であつたりしますので、次回またご意見をいただければと思います。</p> <p>4のその他は事務局から何かありますか。</p>
事務局 功刀	<p>次の開催日を決めていただきたい。(8月28日(水)午後7時からに決定)</p>
議長	<p>会議終了あいさつ</p>
小泉副 委員長	<p>閉会あいさつ 午後9時20分終了</p>